
魔導師たちの非日常的な現実《リアル》

矢井田マツキ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔導師たちの非日常的な現実^{リアル}

【Nコード】

N3176Z

【作者名】

矢井田マツキ

【あらすじ】

魔導師を目指す者の非日常的な現実と生活と、彼らの世界に起こる出来事のお話。

序幕

この世界はいつだって嘘ばかりだ。

今も、昔も、未来さえも。

だから争いが絶えないんだ。

けど、間違いを間違いでは終わらせたりはしない。

人は省みることを知っている、だから新しい時代がやってくる。

魔導技術、曰く魔導時代の到来。

今からおよそ100年前の話。

人類は繰り返す生き物だ。

人類は戦争によって絶滅に瀕していた。

核、爆撃その他思いつく技術の集結でこの世界を、この星を壊していった。

そこで一人の男が立ち上がった。

彼は人類の知らない技術を用いて世界を建て直していった。

『まるで、魔法のようだ。』

それはおとぎのお話、確かに魔法みたいだった。

だが彼はこう言った。

『これは、魔導である。』と。

今では当たり前な魔導についてのあれやこれは、当時の人には理解できるものではなかった。

だが、魔導の力は相当なものだった。

全てを変え、理想を叶える力に人は適応し、慣れ、自分のものとした。

後は時間がものを言う。

人は新しい力のより新しい枠組み、秩序を作っていた。

日本もそのひとつであった。

西暦2115年。

魔導士を志すもの。

彼らの生きる時に、非日常的な現実リアルが始まる。

序幕（後書き）

小説が大好きで、物語を考えるのも大好きでした。
それで自分の考えたものを書いて見ました。

初めてでいたらないかもしれない、見苦しいと思います。
これからも続きを頑張って書きたいと思います。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3176z/>

魔導師たちの非日常的な現実《リアル》

2011年12月11日01時54分発行